

「コロナ禍における伝道」(2020.12.13)

「互いに愛し合いなさい。・・・それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」(ヨハネ 14:34-35)

11月29日、説教奉仕のために大館教会を訪れた時、すぐに目を引いたものがありました。新型コロナ感染予防のポスターです。アピール性が高く、接待してくれたK長老に伺ったら、美術の教員でご自分が作成されたとのこと。それで、さっそく、教会名を「横手」に直したものがあれば、とお願いしたところ、快く作成してくれました。礼拝堂入り口と最後列の会衆席2台に掲示しました。

また、先日、12月2日付で教団からクリスマス行事を迎えるにあたり、「新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン」が届きました。基本的な対処として、①「三密」の回避 ②消毒・手洗いの徹底 ③マスクの着用義務 ④換気の徹底、を挙げています。特に、1年でもっとも人が集まるクリスマスのこの時期、1m以上の対人距離を確保し、発声の機会を抑制し、会食を避け、聖餐式における衛生管理を徹底するようアドバイスしています。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

さて、こうしたコロナ禍で私たちはクリスマスを迎えます。祝会を行います、食事会はありません。12月誕生&受洗記念会を兼ねて、イエス様のご降誕をお祝いします。12時から12時30分を予定しています。またイブ礼拝では、外部から演奏者を招かず、また外に向かつての呼びかけも特にはしません。特別演奏の時間は、今年整えられた礼拝堂の音響環境を活かし、ヘンデルの「メサイア」を聴くことにしました。約4曲で15分くらいです。もちろん、キャンドルの灯火の中での礼拝は変わりません。



この時期、チラシなどを用いて外に向けての呼びかけができないことは残念ですが、長老会ではかまくら FM と契約し、通常の礼拝への案内を流すことにしました。三密の心配はないとの判断です。12月から5月末まで毎週土曜日 8:57 分ごろから 40 秒間流れます。聴いているその人を教会が門戸を開いて招いている、そのメッセージが伝わるだけでもいい、そうした祈りを込めています。

内向きの季節が続きます。でも、この時こそ伝道のチャンス！上掲のイエス様のみ言葉に耳を傾けたい。愛の共同体への成長が遠回りのようだけれど一番近い伝道、です。